

熊本市の介護保険の 状況について

中央区地域包括ケアシステム推進会議

令和5年（2023年）8月31日

熊本市介護保険課

1 高齢者人口、高齢化率の推移

現状

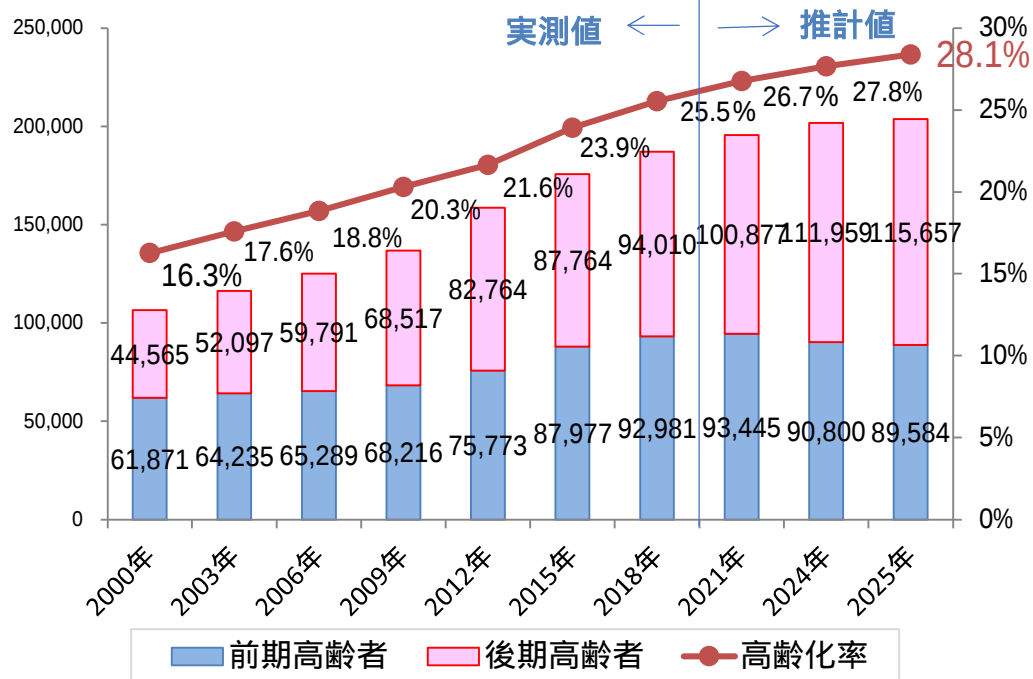
2000年から2023年までに高齢者は約10.6万人から約19.8万人 **1.9倍**
高齢化率は16.3%から27.1% (+ 10.8ポイント)

今後

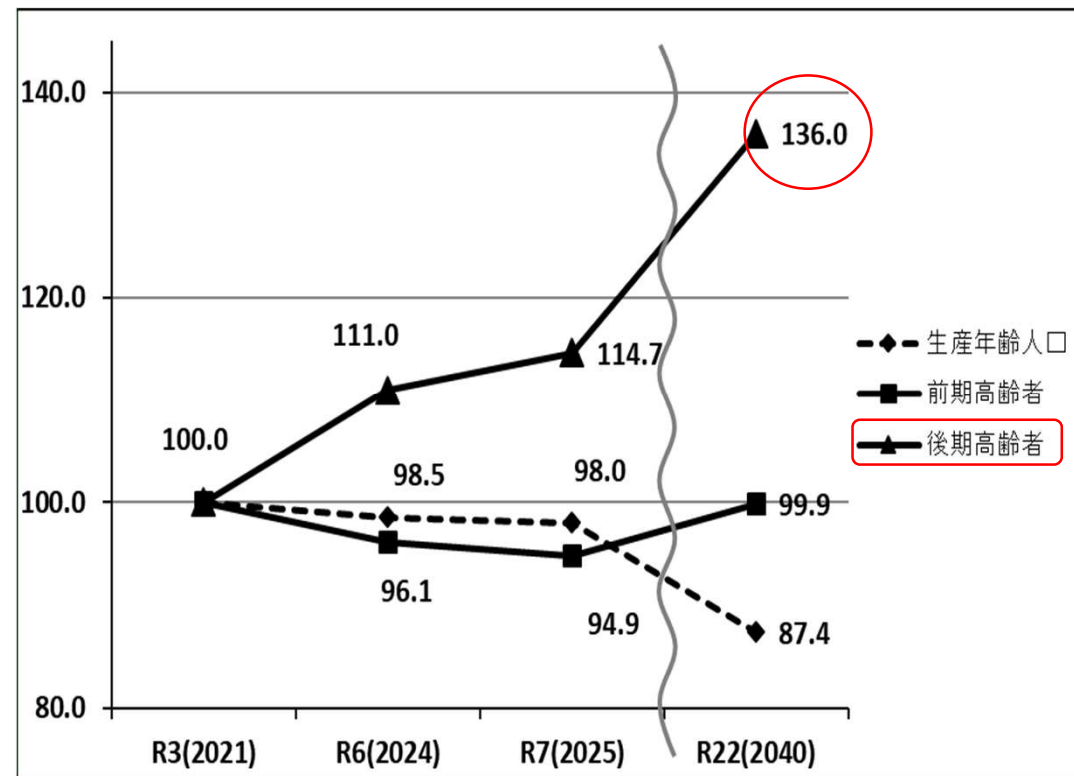
2040年には、高齢者は約23万人 (3.2万人増) 高齢化率 **33.1%**
特に75歳以上の後期高齢者数が急増 10.4万人→13.7万人 (+ 3.3万人)

■ 高齢化率の上昇 / 特に後期高齢者が増加

高齢者数と高齢化率の推移



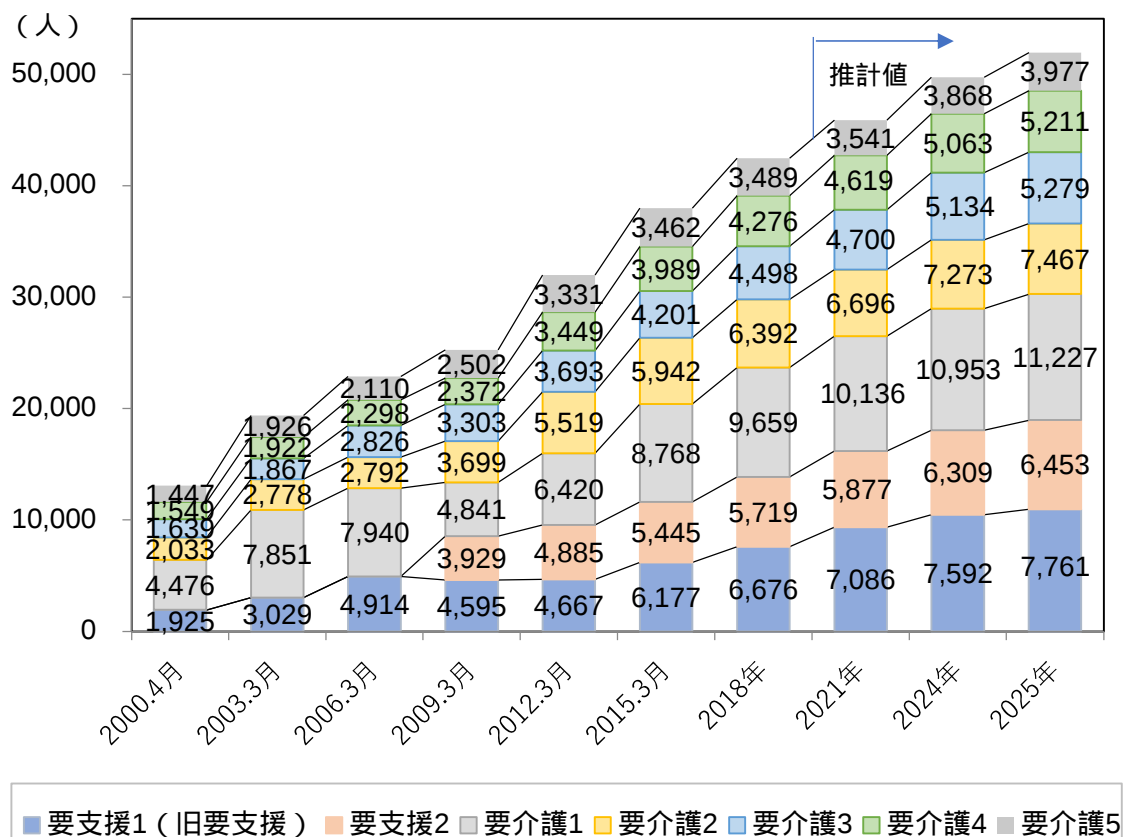
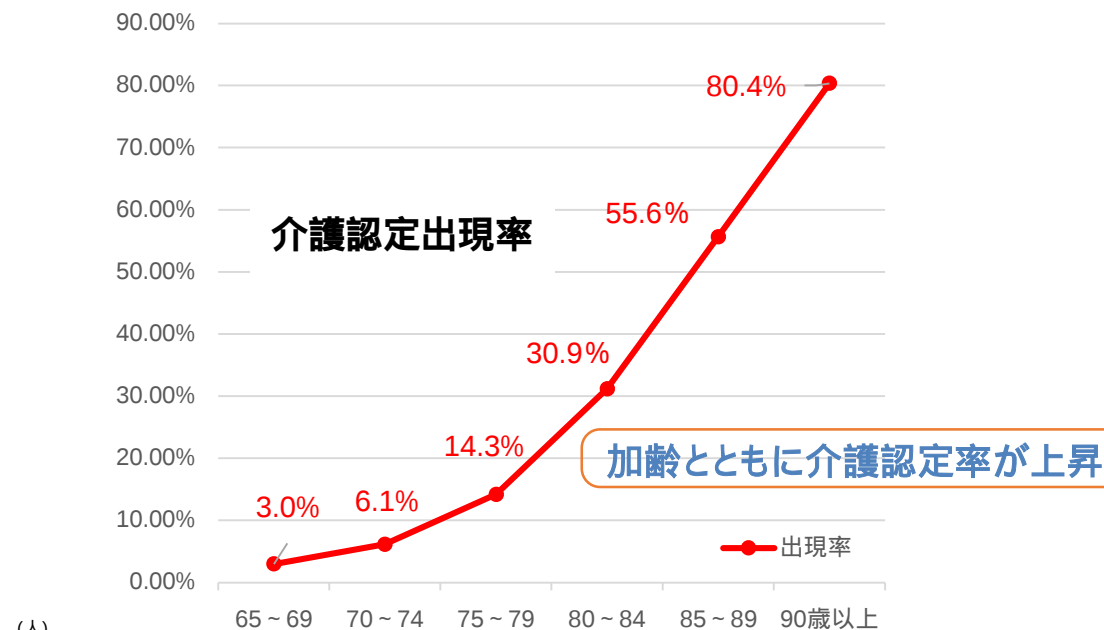
■ 今後も後期高齢者が増加



現
状

2000年から2020年までに要介護(要支援)認定者は約1.3万人から約4.2万人 **3倍**
 要介護認定率 約21.2%(2020.9月) 介護認定者の半数超は「要支援1.2」「要介護1」

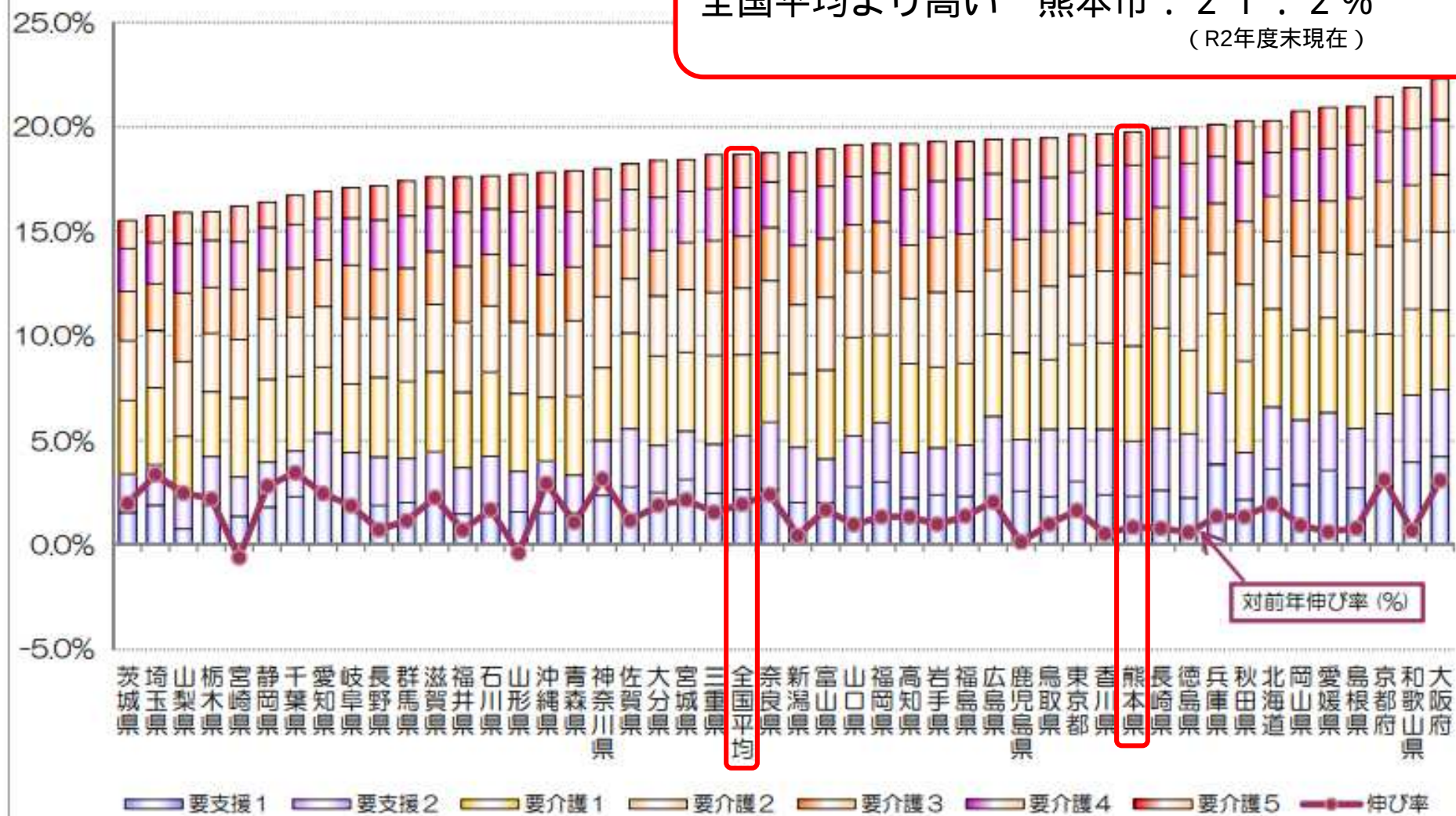
要介護(要支援)認定者数の推移

年齢階層別人口及び介護認定者数・介護認定出現率
(令和2(2020)年9月末現在)

認定率等は速報値活用のために小数点など変更する場合がある

要支援・要介護認定を持っている人の割合が
全国平均より高い 熊本市：21.2%

(R2年度末現在)



※第1号被保険者数及び認定者数は、令和2年度末現在の数値である。

対前年伸び率(%)は、令和2年度末現在と令和元年度末現在との認定者数の比較である。

R4年9月末現在

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
人数	6,603	5,699	9,642	6,455	4,692	4,631	3,010	40,732
割合	16.2%	14.0%	23.7%	15.8%	11.5%	11.4%	7.4%	100.0%

53.9%

半数以上が比較的軽度な認定者

機能回復の可能性

介護保険法

（目的）

第一条 この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。

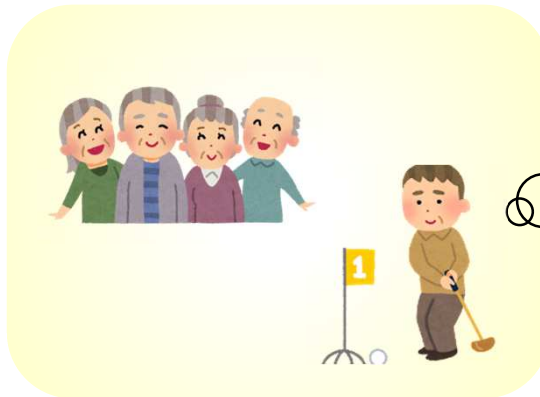
もともと介護保険法は「**高齢者の自立支援**」のための制度であり、「自立支援」の考え方は、新しい視点ではなく、**基本的理念**。（いわば原点回帰。）

心身の変化を感じているAさん

Aさん



体力が落ちたな...
最近、腰が痛くて掃除や買
い物が大変
なるべく出かけたくないよ。



もうずっとグラウンド・
ゴルフに行っていないな。
ケアマネさんは勧めてく
れるけど、なんとなく行
きづらいなあ。

介護保険
申請



認定



ケアプラン
作成

娘さん



一人暮らしだから心配。
私も頻繁には通えないし、
ヘルパーさんに来てもら
えると安心だけど。



ケアマネジャー

訪問介護



デイケア

デイケアで運動するよう
になって、腰痛もだいぶ
落ち着きました。ヘル
パーさんが来てくれるか
ら本当に助かりますよ。
これからも介護保険を使
いながら、自宅で過ごし
たいですね。

心身の変化を感じているAさん

Aさん



体力が落ちたな...
最近、腰が痛くて掃除や買
い物が大変
なるべく出かけたくないよ。

介護保険
申請



認定



ケアプラン
作成

ケアマネジャー



Aさんが希望する暮らしを
一緒に目指しましょう。

主治医



筋力をつけま
しょう！運動
に制限はあり
ませんよ。

運動指導
自宅の住環境整備
家事動作の工夫
変化の見える化

Aさん



訪問介護



Aさんができな
い部分をサポ
ートしますので、
自分でできる方
法を探していき
ましょう。

姿勢改善と筋力・持久力を
つけて、家事や外出をでき
るように頑張りましょう。
家の中のことも教えてくだ
さい。



デイケア



またグラウンド・
ゴルフに行けると
いいなあ。

1～2ホールだ
けでもプレーし
に来ませんか？
待ってますよ。

Bさん



グラウンド・ゴルフ
の友人

一緒に行きます
よ！



Bさん

ボランティア

一緒に運動し
ましょう。



くまもと元気くらぶ



移動支援

送迎しますよ。



お荷物はお届け
しますよ。休憩
スペースもある
のでゆっくりど
うぞ。



介護保険利用終了

腰の痛みはほとんど気にならなくなりました。グラウンド・ゴルフや元気くらぶも続けますよ。私が休むとBさんが寂しがるから。体力にも自信がついて、前からやってみたかった公民館講座に行ってみようと思っています。

娘さん



元気になってよかった。近くで支えてくれる人がいるから安心です。

Aさんの変化を支えていたもの

Aさんと娘さんが介護保険の理念を理解していたこと
Aさんを中心に医療と介護が連携し、Aさんの望む暮らしの実現のために、
自立に向けた支援を行ったこと
顔なじみの方がいて、介護が必要になった後も
その関係が途切れなかったこと
介護保険以外にもさまざまな社会資源があったこと
移動支援、通いの場（元気くらぶ）、ボランティア、企業のサービス
Aさんが心身の状態に応じた役割をみつけたこと



病気やケガで一時的に介護が必要になっても、
回復が見込める方は回復を、維持を目指す方は重度化を防ぎ、
心身の状態に応じて、支えたり支えられたりしながら社会とつながり続ける
いつまでも、住み慣れた地域で、自分らしく暮らせるように

真に必要なサービスを必要な人に提供できる状態を保つ
～ 介護保険制度の信頼性を高め持続可能に～